

# 平成30年度

## 第2回 関東森林管理局国有林材供給調整検討委員会

日 時 : 平成30年9月11日(火)  
15:00~17:00

場 所 : 関東森林管理局  
東京事務所 会議室

### 次 第

#### 1. 開 会

#### 2. 議 事

##### (1) 木材の需給動向について

- ① 木材の需給、価格等の動向
- ② 関東局における国有林材の供給状況

##### (2) 国有林材供給調整の必要性について(審議)

#### 3. 閉 会

平成30年度 第2回 関東森林管理局国有林材供給調整検討委員会 出席者名簿

(五十音順・敬称略)

所 属 ・ 役 職 名	氏 名
株式会社フジイチ 代表取締役社長	石野 秀一
福島県森林組合連合会 常務理事	遠藤 誠寿
栃木県林業木材産業課 木材産業担当 課長補佐	川上 晴代
栃木県森林組合連合会 木材流通課 課長	栗原 直人
協和木材株式会社 代表取締役社長	佐川 廣興
東京合板工業組合 業務統括室長	佐々木 祐子
群馬県森林組合連合会 木材部長	鈴木 克志
有限会社平子商店 専務	平子 美穂子
茨城県森林組合連合会 代表理事専務	楡井 真一
国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 研究コーディネーター(地域イノベーション推進担当)	堀 靖人

## 平成30年度 第2回関東森林管理局国有林材供給調整検討委員会 議事概要

### 1. 開催日時・場所

平成30年9月11日（火）15:00～17:00

関東森林管理局 東京事務所会議室

### 2. 検討結果

需給動向や各委員からの状況報告等を総合的に勘案した結果、現時点において国有林材の供給調整を実施する必要はない。

### 3. 概要（状況報告等）

#### （1）需給動向について

- 栃木県では、7月の素材の入荷量が台風等の影響で減少したが、昨年と比較しても同水準であるため一時的な減少であると思われる。
- 福島県では、スギの柱材・中目材において、品薄状態からの一時的な価格上昇が見られるが、長期的には保合になると見込まれる。
- 茨城県では、民有林の入荷が減少しているが、国有林材は昨年同時期を下回る取扱量ではあるものの、順調に入荷されており、引き合いも強く順調な販売となっている。
- 群馬県では、スギの柱材が不足気味で値上げに転じている。小径材は土木材としての需要が県外からあり高値を維持している。

#### （2）主な意見

- 需用者を中心に、安定価格による安定的な出材が求められているが、夏場の下刈要員の確保が困難であることから伐出量の低減が見られる。民有林からの強い出材が望めない状況において、国有林材の出材が市場の安定を図る上で重要である。
- 製材品市場の好況が聞こえてこない中での丸太市場の保合は、物流変化の前兆かと注視している。
- 日本のスギ材は、米国で、米スギの代替材としてデッキ等のエクステリア材に使用されているが、米スギは米国産の供給量に限りがあるため、日本からのスギ製材の輸出市場として有望である。
- 中国から米国向けの木材製品に25%の関税が課されることになり、今後は、関税の対象とならない日本国内で加工して製品を輸出する動きが強まると思われる。